

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1184号	氏名	角川 智之
論文審査担当者		主査教授	永安 武
		副査教授	関根 一郎
		副査教授	上平 憲
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、抗線維化作用を有するピルフェニドンが、肺線維症の進展過程において重要な役割を担っている HSP47 の発現に及ぼす影響について検討し、肺線維症患者に対するピルフェニドンの作用機序を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>本研究ではマウスブレオマイシン肺線維症モデルを用いて、線維化の程度を組織学的・生化学的に評価すると同時に HSP47 発現細胞や筋線維芽細胞を免疫組織学的に同定している。そしてこれらの評価項目をピルフェニドン投与の有無により比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、ピルフェニドンによる治療群ではブレオマイシン肺線維症群と比較して、HSP47 の発現や筋線維芽細胞の浸潤増殖を抑制することにより線維化を有意に抑制していることが明らかになると共に、肺線維症の進展に伴って Ⅱ型肺胞上皮細胞も HSP47 を発現することが確認され、新たな治療のターゲットになり得る可能性が期待できる。</p> <p>以上のように本論文はピルフェニドンが HSP47 の発現に及ぼす影響を明らかにすることにより、肺線維症における線維化進展の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。